

第六十五回帝國議會
衆議院

製鐵所特別會計法廢止法律案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

製鐵所特別會計法廢止法律案(政府提出)
中央卸賣市場法中改正法律案(藤田若水君外二名提出)

會議

昭和九年二月十五日(木曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤鏖五郎君

理事横川 重次君 理事濱野徹太郎君

窪井 義道君 田尻 生五君

藤田 若水君 高橋壽太郎君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 松本 丞治君

出席政府委員左ノ如シ

大藏書記官 廣瀬 豊作君

大藏書記官 賀屋 興宣君

商工參與官 松村 光三君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

商工書記官 新倉 利廣君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

製鐵所特別會計法廢止法律案(政府提出)

○加藤委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、御

諮リ致シマスルガ、此製鐵所特別會計法廢止法律案ノ本ヲ成シテ居リマスル所ノ、製

鐵合同ノ問題ニ關シマシテハ、既ニ貴族院ニ於テモ相當論議ガアリ、衆議院ニ於テモ

論議ノアル所デゴザイマスルガ故ニ、先日委員諸君カラノ御請求ニ依リマシテ、財産

評價方法、其他ニ關スル資料ハ出テ居リマ

スルケレドモ、只今之ヲ手ニシタマケデア

リマスガ故ニ、此場合委員諸君ガ御質疑ヲ

爲サル前ニ、十分政府委員ヨリ説明ヲ聽取

シテ、然ル後ニ質疑ニ入ッタ方ガ便宜カトモ

存ジマスカラ、政府委員ヨリ詳細御説明ヲ

願ヒタイト思ヒマス

○松村政府委員 製鐵合同ニ至リマスル大

要ヲ私ガ申上ゲマシテ、詳細ノコトハ其衝

ニ當ッテ居ル者カラ、十分補足シテ説明ヲ申

御承知ノ通りニ、官制ニ基キマシテ制定セ

ラレ、衆議院議員三名、貴族院議員三名、

陸軍代表二名、海軍代表二名、大藏省二名、

商工省二名、其他ニ商工省カラ臨時委員ガ

出テ居リマスルガ、ソレ等ノ人々ヲ以テ組

織サレタル所ノ委員會デアリマシテ、此委

員會ハ特別委員會十回、總委員會四回、合

計十四回ノ會議ヲ重ネマシテ、慎重審議ノ

結果評價ノ審査ヲ完了シタノデアリマス、

斯ル嚴重ナル手續ヲ經マシタコトヲ茲ニ大

要申上ゲマシテ、其評價審査ノ内容經過ニ

付キマシテハ、關係ノ者カラ詳細ニ御説明

申上ゲサセタイト思ヒマス

○加藤委員長 鑛政課長新倉利廣君ハ政府

委員トシテノ通牒ニ接シテ居リマセヌガ、

説明員トシテ茲ニ發言ヲ許スコトニ致シマ

ルナラバ製鐵所外十一社ノ合同ヲ致シタイ

ト云フ見込ヲ以チマシテ、法律通過後ソレ

ゾレ準備ヲ進メタノデゴザイマスガ、九月

ニ至リマシテ、大體設立委員及評價審査委

員ヲ任命シテ、實際上日本製鐵株式會社ノ

設立ニ付キマシテ、參加會社ノ財産ナリ何

ナリヲ十分調査致シマシタ分ハ、大體十一

社ノ中八社デゴザイマシテ、残りノ日本鋼

管、淺野造船、淺野小倉ノ此三社ハ、現在

ノ製鐵業ノ情勢、其他各社ノ内情其他カラ、

當初ヨリ此合同ニ參加スル意思ガ比較的薄

イ情勢デゴザイマシテ、資料ノ提出、其他

各種ノ調査ニ付テ十分ナコトモ出來ナカッ

タノデ、是ハ一應其設立委員會並ニ評價審

査委員會ノ當時カラ考慮ニ餘リ入レズニ

居ッタノデアリマス、以外ノ八社ニ付キマシ

唯東洋製鐵及大阪製鐵ハ、其株式ヲ株式市場ニ上場シテ居リマス關係上、一月末日本製鐵株式會社設立ノ際ニ、直チニ參加出來ナイヤウナコトニナリマシタガ、恐ラク今後三月末又ハ四月上旬ニ參加スルコトニナルト思ヒマス、モウ一社ノ東海鋼業ハ最初ハ相當參加ノ意思ヲ持ッテ進ンデ居リマシタガ、是ハ株主關係、其他借入金ノ處分方法ナドニ關聯シマシテ、ドウモ今直チニ參加困難ダト云フ事情デ、是ハ今回ノ合同ニハ參加シナイコトニナリマシタ、結局製鐵所ノ外五社——五社ト申シマス、輪西、釜石、富士、九州製鐵、三菱、此五社ヲ以テ日本製鐵株式會社設立サレタ譯デアリマス、此製鐵所外五社ノ出資財産ヲ如何ニ評價スルカト云フコトハ、極メテ重要ナル問題デゴザイマシタ、此評價審査委員ハ先程御話ガアリマシタ通りニ、十數回ニ互ッテ慎重審議ヲシタノデアリマスガ、其審議ノ原則ト云フモノヲ決メルコトガ、第一ニ重要デアルト云フ各委員ノ意見ニ依リマシテ、御手許ニ配付致シテアリマス出資財産評價方法要綱ト云フモノヲ先ヅ委員ニ於テ御決メニナリマシテ、此要綱ニ基キマシテ各社ノ出資財産ヲ評價致シタノデゴザイマス、此要綱ハ大體御覽戴キマスレバ御了解

願ヘルト思ヒマスガ、其中特ニ問題ニナリマシタ事項ニ付テハ、御説明申上ゲテ置イタ方ガ御審議ヲ願フ上ニ於テ御參考ニナルト思ヒマスカラ、此要綱ノ順序ニ依リマシテ一應御説明申上ゲテ見タイト思ヒマス評價ヲ致シマスニ付キマシテハ、出資財産ヲ一面ニ於テ複成式デ評價スル、是ハ要スルニ現在其製鐵所ノ設備ヲ拵ヘタラ幾ラ掛ルカト云フ評價ノ遺方ト、ソレカラ其設備ガドレダケノ稼高、アーンシング・パワーヲ持ッテ居ルカト云フ方面カラ見テ評價、此兩方面カラ見テ評價ヲ適當ニ組合セテ評價スルノデアリマスガ、其中ノ先ヅ稼高式ノ評價、所謂「アーンシング・パワー」ニ依ッテ評價致シマシタ點ニ付テ、問題ニナリマシタ點ヲ申上ゲマスト、第一ニ一應各社ノ稼高ガ出マシタ場合ニ、其稼高カラ資本ヲ還元致シマス率ニ付テ問題ニナリマス、其次ハ稼高ヲ出シマス際ニ其販賣單價、所謂生産シマシタモノヲ幾ラデ賣ルカト云フ、販賣單價ヲ如何ニ決メルカト云フ方面ガ指摘サレマス、モウ一ツハ稼高カラ稼高式評價ヲ出ス場合ニ、減價償却ヲドウ見ルカト云フ點、大體稼高式評價ニ付キマシテハ、此三點デアリマスガ、所謂還元率、例ヘバ此製鐵所ニ於キマシテハ、純稼高ハ約二千五百

萬圓ト見ナケレバナラスノデアリマスガ、此二千五百萬圓ノ純稼高式評價カラ還元シマシタモノヲ幾ラト見ルカト云フ場合ニ、昨年ノ議會ニ於キマシテハ、六分デ還元シタラドウダラウト云フヤウナ御説明ヲ申上ゲタノデゴザイマスガ、其後色々各種ノ經濟界ノ情勢、或ハ各種事業ノ配當率ト云フヤウナコトモ考ヘ、又製鐵事業ト云フモノガ基礎産業トシテ持ッテ居リマス重要性ト云フヤウナモノカラ、色々檢討シマシタ結果、配當ハ六分見當トシマシテ、其他積立金トカ何トカ云フモノモ考慮ニ入レル必要ガアルダラウ、サウ云フ所カラ考ヘテ還元率ヲ七分トスルコトガ適當デアラウト云フコトニナリマシタ、即チ例ヘバ製鐵所ノ純稼高ガ二千五百萬圓ゴザイマスレバ、ソレヲ七分デ還元シマシテ、大體三億六千萬ト云フ風ニナルコトガ適當デアラウト云フコトニナリマシタノデアリマス、次ニ此稼高ヲ算出スル場合ニ、結局純稼高ヲ算出シマスト云フコトハ、總收入カラ總支出ヲ引イテ、其差額ガ即チ純稼高ニナリマスノデ、其總收入ヲ出シマスニハ、結局生産シマシタモノヲ販賣シテ、其收益ガ幾ラカト云フコトニナリマスカラ、其生産品ノ販賣高ト云フモノガ、總收入ノ上ニ於キマシテ

ハ極メテ重要ナルモノニナルノデアリマス、之ニ付キマシテハ大體基準トナル品物ヲ取りマシテ、即チ標準丸鋼ト申シマスカ、要スルニ鋼材ノ基準トナルモノヲ取ッテ、ソレノ一箇年ノ平均價格ヲ取ツタモノデアリマス、之ニ付キマシテハ、最近ノ一箇年ヨリモモット長イ、或ハ五箇年、或ハ十箇年ト云フヤウナモノ、平均ヲ取ツタラドウダラウト云フ御疑問等モゴザイマセウガ、併シ最近ノ鐵鋼市價ノ情況ハ御承知ノ通り世界的ノ動向——金ノ輸出再禁止、或ハ爲替相場ノ激變ト云フヤウナ色々異常ナ事情ガアリマシテ、從テ市價ト云フモノモ極メテ甚ダシイ變動ヲ致シマシタノデ、斯ウ云フ變動ノ時期ヲ平均スルト云フコトハ必シモ當ヲ得ナイ、寧ロサウ云フ事情ガ或ル程度安定シタ最近一箇年ノ比率、此最近ト申シマスノハ一昨年ノ昭和七年七月カラ昭和八年ノ六月迄ヲ標準ト致シタノデアリマスガ、其期間ノ初メノ方ハズット市價ガ低イ、ソレガ漸次回復致シマシテ、中頃ニ於テハ普通ノ價格ニナリ、終リノ方ニ行キマシテハ、稍高イト云フヤウナ情勢デ、之ヲ一箇年平均シマス、大體ニ於テ「ノルマル」ナ市價ヲ取ルコトガ出來ラウト云フヤウナ意見デ、最近一箇年ノ丸鋼價格ヲ標準トス

ルト云フコトガ、適當ダラウト云フコトニ先ヅナッタノデアリマス、ソレナラバ他ノ各種ノ品物ノ販賣値段ハドウスルカト云フコトニナリマス、是ハサウ云フ標準ノ物カラ他ノ物ヲ出シマスルコトデアルカラ、或ル程度長イ期間ノ狀況ニ依ッテ其比率ヲ定メルコトガ宜カラウト云フ意味ニ於キマシテ、此標準丸鋼ノ最近一箇年ノ價格デアアル八十一圓四十錢ト云フモノヲ基準ニシマシテ、其基準ニ對シテ他ノ例ヘバ銑鐵トカ、或ハ各種鋼材ト云フモノ、値開キト云フモノハ、最近五箇年ノ平均ヲ比率ニ依ッテ、名品ノ販賣單價ヲ決スルコトガ適當ダラウト云フ意味ニ於キマシテ、標準物ハ最近一箇年ノ平均價格、其他ノモノハ之ニ對スル過去五箇年ノ平均ノ比率ニ依ッテ算出スルト云フ方法ヲ採リマシタ、其次ニ問題ニナリマシタノハ、此稼高ヲ算出シマス場合ニ、ヤハリ是ハ純利益ヲ資本ニ還元シマスノデスカラ、其純利益ト云フモノ、中カラ、矢張償却ヲ引カナクチャナラス、其償却ヲ如何ニ計算スルカト云フ問題デゴザイマシテ、之ニ付キマシテハ年五分、即チ普通ニ計算シマスレバ二十箇年ト云フ風ナ計算デヤッタドウカト云フ意見モゴザイマシタケレドモ、併ナガラ大體ニ於テ其製鐵設備

ト云フモノハ、相當ニ鞏固ナ設備ニナッテ居リマスカラ、持續性モ有ッテ居ルノデ、四分程度ノ償却デ宜カラウ、之ヲ複利デ換算シマスレバ、二十六年ト云フ程度ニモナル計算デアリマスケレドモ、大體四分程度デ宜カラウト云フコトニ依ッテ決定致シマシタ、稼高式ノ評價ニ付キマシテ、主トシテ問題ニナリマシタ點ハ、其三點デゴザイマス

價額ヲ——、最後ニ於テ壓縮ト云フ字ヲ吾吾ハ用ヒテ居リマスガ、資本ノ水膨レヲ防グ爲ニ、或ル程度資本額ヲ減スト云フ遣方ヲヤリマシタモノデスカラ、其方デ相當考慮スレバ、複成式價格ノ所デ、必シモ理想的設備ヲ考慮シナクテハナラヌ云々ト云フコトハ必要ガナイデアラウト云フ意見デ、一應複成式價格ニ付キマシテハ、初ニ申シマシタヤウニ、現在造レバ幾ラニナルカト云フコトデ計算致シマシタ、以上申上ゲマシタヤウナ方法デ、稼高式評價ト、複成式評價方決マリマス、今度ハソレヲ組合セマスニ付キマシテハ、是ハ前議會當時ニハ、稼高二ニ複成式一ト致シマシテ、之ヲ三分致シタノデゴザイマス、併ナガラ今申シマシタヤウニ稼高ヲ二トシテ、稼高二ニ重キヲ置クト云フコトハ、最近ノ鐵鋼ノ價段ガ相當高クナッテ居ルト云フヤウナ點カラ見マシテモ、必シモ稼高二ニ重キヲ置クトガ適當デアアルカドウカト云フコトニ付テ疑問ガアリマシタノミナラズ、一ニ複成式ノ評價ト云フモノハ、設備自體ノ價值ヲ豐富ニ示ス特長モアリマスノデ、何方ニ重キヲ置クト云フ遣方デナシニ、寧ロ稼高一、複成式一ト云フ風ニシテ、一ト一

ジニ見ルト云フ遣方ガ適當デアラウト云フ意見デ、前議會當時ニハ先程申シマシタヤウニ、稼高二、複成式一トシテ三分致シマシタ方法ヲ變更致シマシテ、稼高式モ複成式モ一ト致シマシテ、二分スルト云フ方法ヲ執リマシタ、斯様ニシテ出マシタ評價額ニ付キマシテハ、是ハ先程モ申シマシタヤウニ、今後會社ガ事業ヲ經營シテ行ク場合ニ於キマシテ、資本ガ餘リ厩大ニナルコトハ、日本製鐵株式會社設立ノ趣旨ニ鑑ミマシテモ、亦將來外國品トノ競争ト云フヤウナ事カラ考ヘマシテモ適當デゴザイマセヌカラ、出來ルダケ其設備ノ價格、即チ資本ト云フモノヲ小サク致シマシテ、サウシテ會社ノ今後ニ於ケル經營ヲ容易ナラシメルコトガ必要デアラウト云フ意味ニ於キマシテ、是ハ昨年ノ議會ニ於キマシテモ、大體適當リノ設備費ハ、六十一圓程度ニスルコトガ適當デアルト云フ考ヲ申上ゲテ置キマシタガ、今回ニ於キマシテモヤハリ其考ヲ踏襲致シマシテ、大體適當リノ設備費ハ六十一圓見當ニナルヤウニ、基礎價格ヲ壓縮スルト申シマスカ、査定スルト申シマスカ、減少スルト云フコトハ、各委員ノ意見モ一致致シマシテ、結局六十一圓見當ヲ目標ニシテ減ス、其減ス率ハ前議會ニ於キマシテハ、三分ノ

次ニ複成式ノ評價ニ付テ申シマスルト、此設備ノ複成式ノ評價ノ計算方法ハ、大體前會社ノ設備ヲ再計算スレバ幾ラ掛ルカト云フコトヲ出シマシテ、其出シマシタモノカラ其設備ガ、既ニ例ヘバ十年前ニ造ラレテ居リマスレバ、其十年間ニ減價シマスル割合ヲ差引キマシテ、サウシテ其現在ノ價格ハ一體幾ラニナルカト云フ計算ヲシタノデゴザイマスガ、之ニ對シマシテ或ル見方ト致シマシテハ、サウ云フヤウニ現在ノモノハ一體幾ラカト云フヤウナ見方モ一ツノ見方デアラウガ、何かモト理想的ニ今設備スレバ、凡ソ此設備ハ幾ラ位掛ルベキモノカト云フヤウナ方面カラ觀察シテ、サウシテ適當ニ其設備ノ價段ト云フモノヲ考慮シタラドウダト云フヤウナ御意見モゴザイマシタ、併シ此點ハ後程申シマス設備ノ評

價額ヲ——、最後ニ於テ壓縮ト云フ字ヲ吾吾ハ用ヒテ居リマスガ、資本ノ水膨レヲ防グ爲ニ、或ル程度資本額ヲ減スト云フ遣方ヲヤリマシタモノデスカラ、其方デ相當考慮スレバ、複成式價格ノ所デ、必シモ理想的設備ヲ考慮シナクテハナラヌ云々ト云フコトハ必要ガナイデアラウト云フ意見デ、一應複成式價格ニ付キマシテハ、初ニ申シマシタヤウニ、現在造レバ幾ラニナルカト云フコトデ計算致シマシタ、以上申上ゲマシタヤウナ方法デ、稼高式評價ト、複成式評價方決マリマス、今度ハソレヲ組合セマスニ付キマシテハ、是ハ前議會當時ニハ、稼高二ニ複成式一ト致シマシテ、之ヲ三分致シタノデゴザイマス、併ナガラ今申シマシタヤウニ稼高ヲ二トシテ、稼高二ニ重キヲ置クト云フコトハ、最近ノ鐵鋼ノ價段ガ相當高クナッテ居ルト云フヤウナ點カラ見マシテモ、必シモ稼高二ニ重キヲ置クトガ適當デアアルカドウカト云フコトニ付テ疑問ガアリマシタノミナラズ、一ニ複成式ノ評價ト云フモノハ、設備自體ノ價值ヲ豐富ニ示ス特長モアリマスノデ、何方ニ重キヲ置クト云フ遣方デナシニ、寧ロ稼高一、複成式一ト云フ風ニシテ、一ト一

ジニ見ルト云フ遣方ガ適當デアラウト云フ意見デ、前議會當時ニハ先程申シマシタヤウニ、稼高二、複成式一トシテ三分致シマシタ方法ヲ變更致シマシテ、稼高式モ複成式モ一ト致シマシテ、二分スルト云フ方法ヲ執リマシタ、斯様ニシテ出マシタ評價額ニ付キマシテハ、是ハ先程モ申シマシタヤウニ、今後會社ガ事業ヲ經營シテ行ク場合ニ於キマシテ、資本ガ餘リ厩大ニナルコトハ、日本製鐵株式會社設立ノ趣旨ニ鑑ミマシテモ、亦將來外國品トノ競争ト云フヤウナ事カラ考ヘマシテモ適當デゴザイマセヌカラ、出來ルダケ其設備ノ價格、即チ資本ト云フモノヲ小サク致シマシテ、サウシテ會社ノ今後ニ於ケル經營ヲ容易ナラシメルコトガ必要デアラウト云フ意味ニ於キマシテ、是ハ昨年ノ議會ニ於キマシテモ、大體適當リノ設備費ハ、六十一圓程度ニスルコトガ適當デアルト云フ考ヲ申上ゲテ置キマシタガ、今回ニ於キマシテモヤハリ其考ヲ踏襲致シマシテ、大體適當リノ設備費ハ六十一圓見當ニナルヤウニ、基礎價格ヲ壓縮スルト申シマスカ、査定スルト申シマスカ、減少スルト云フコトハ、各委員ノ意見モ一致致シマシテ、結局六十一圓見當ヲ目標ニシテ減ス、其減ス率ハ前議會ニ於キマシテハ、三分ノ

第六類第五號 製鐵所特別會計法廢止法律案委員會會議錄 第三回 昭和九年二月十五日

二ニ致シマシタガ、今度ハ六十一圓ヲ目標ト致シマス、四分ノ三デ宜シト云フ數字上ノ結果ニナツタノデ、壓縮率ト致シマシテハ、斯ウ云フ風ニ率ハ多クナリマシタ、壓縮スル割合ト申シマス、其方ハ減ゼラレナイト云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、以上ニ於キマシテ、大體製鐵事業ノ基本トナリマス設備ニ付テノ評價ガ濟ミマシタ、其他ニ特別評價ト申シマシテ、以上ノヤウナ稼高及ビ複成式ノ方法ニ依ラナイデ評價シタモノガゴザイマス、是ハ大體先ヅ未成工事ト云ヒマシテ、其當時マダ工事が完成シテ居リマセヌノデ、其稼高ヲ計算スルコトモ困難デアルト云フヤウナ事情カラ、是ハ別個ノ方法デヤツテ居リマス、併ナガラ大體ハ複成式、稼高式ト云フ觀念ヲ準用シテ算出シタノデアリマス、其外ニ作業上現在直チニ必要トシナイト云フモノモゴザイマス、ソレカラ又炭山、鑛山、石山ト云フヤウナ附屬ノ設備モゴザイマス、是ハ官營製鐵所ダケデアリマシタガ、其外ニ流動資産ノ一部分ヲ出資ニ充デルト云フヤウナコトモゴザイマシテ、是モ特別ノ評價ニ依リマシテヤルコトニ致シマシタ、大體以上申上ゲマシタヤウナ經過ヲ以チマシテ、此評價ガ決定致シマシタ、其評價ガ大體決定致シ

マシタノハ、十二月ノ中旬デゴザイマス、ソレデ大體決定シタ評價ニ基キ、設立委員會ニ於カレマシテ、各社トノ交渉ニ移リマシタ、各社トノ交渉ニ於キマシテハ、多少數字上ノ計算、其他ノ變更ハアリマシタガ、大體評價委員會ニ於テ、特ニ決定サレマシタ出資額ノ變更ハゴザイマセヌ、勿論其後各社トノ交渉ノ關係カラ、此評價原則ヲ變ヘルト云フヤウナコトハ絶對ニナク、全部評價委員會乃至設立委員會デ承認サレマシタ評價原則通りノ方法デ計算サレ、唯幾分數字上ノ換算ヲ變ヘタ程度ノ變更ガアツタゲケデアリマス、大體評價ニ付キマシテハ、斯ウ云フヤウナ經過ヲ經マシテ、去ル一月二十六日ニ設立委員會デ、新會社ノ定款ヲ定メ、竝ニ認可申請ヲ致シマシタ、商工大臣ハ其認可申請ガアリマシタノデ、正式ニ更ニ評價審査委員會ニ付議シテ、サウシテ二十九日ニハ創立總會ヲ開キマシテ、日本製鐵株式會社ガ設立サレ、實際ノ仕事ハ二月一日カラ日本製鐵株式會社ガヤツテ居ルト云フ現在ノ状態ニナツテ居リマス

○加藤委員長 只今商工大臣カラ午後ハ貴族院ニ豫算總會ガアツテ、向フニ出席セネバナリマセヌカラ、大臣ニ對スル質疑ガアリマスナラバ、今ノ内ニ御質疑ヲ願ヘバ好都合ダト云フ仰セデアリマシタ

○横川委員 大臣ニ於カレテハ今日以後モ出席ノ機會ガアラレルコトニ期待致シマシタガ、如何デアリマスカ、委員長カラ一ツ：
：
：
○加藤委員長 勿論當然出席サレルノデアリマスガ、今質疑ヲ開始スル前ニ、大綱ニ付テ何カ御質疑ガアレバ……、斯ウ云フコトデアリマス

○横川委員 製鐵ノ合同ガ成立致シマシタコトハ、其目的ト致シマスル方針カラ申シマスルナラバ、趣旨ニ於テ極メテ時宜ニ適スルモノト考ヘテ居ル一人デアリマスルガ、今後ニ於キマスル會社ノ經營ノ適否ト云フモノガ、寧ロ此合同ノ結果ガ時宜ニ適シテ居ルタカ否ヤト云フコトヲ示スモノデアリマシテ、主トシテ今後ノ結果ニ於テ是非ノ判斷ヲ判別スル以外ニハ方法ハナイノデアリマス、其御所信ニ付キマシテハ、姑ク今後ノ質問ニ讓リマシテ、本合同ノ結果、國內ニ於ケル大體ノ製鐵業ニ於キマスル統制ハ、或ル程度マデ出來ルコトニナリマスルガ、最近滿洲國トノ關係ニ於キマシテ、滿洲國內ニ於キマスル同種ノ事業ニ關シマシテハ、日滿特殊ノ關係上ヨリ致シマシテ、何等カノ適當ナル連繫アル統制ノ下ニ立脚ヲ

シ、滿洲國ニ於カレテモ、我國ノ方針ト一致スルヤウナ方針ニ出ラレルヤウニ、我國ニ於キマシテ特ニ滿洲國ニ對スル手拔カリナキ連關ヲ有タシムルコトガ必要デアルト存ジマスルガ、此點ニ關シマシテ大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○松本國務大臣 只今ノ御質問ハ、製鐵合同ノ宜カッタカドウカト云フコトハ、今後ノ經營ニ徵シテ之ヲ見ルノ外ハナイ、而シテ國內ノ統制ハ是デ大體付クダラウガ、滿洲トノ關係ハドウナルグラウト云フ御質問デアツカト考ヘマス、極メテ適切ナ御質問ト考ヘマス、御承知ノヤウニ滿洲ニ於キマシテハ、從來滿鐵ガ鞍山デ製鐵ヲヤツテ居リマシタ、併シ是ハ銑鐵ダケデアツタノデアリマス、然ルニ其後製鋼ヲモヤラウト云フコトニナリマシテ、長イ間此事ハ決定サレズニ、機械ガ買ハレテ居ッテ、而モ事業ハ出來ズニ居ツタヤウデアリマスガ、遂ニ昭和製鋼株式會社ト申シマシタカ、サウ云フ會社ニナリマシテ、滿鐵ノ手カラ離レテ、從來ノ鞍山ノ製鐵事業ト併セテ鋼鐵ヲ造ル事業ヲ始メルコトニナリマシタ、其何レニ工場ノ位置ヲ定メルカト云フコトモ、長イ間ノ懸案デアリマシタガ、遂ニ慥カ鞍山ニ定メラレタト思ッテ居リマス、此製鐵所ハ中々大キナ

組織デアリマシテ、生産能力等ノ數字ニ付テハ私ハ能クハ承知シテ居リマセヌガ、相當ノ大キナ仕事デアリマス、又是ハ國家的ノ仕事トシテ、國家トシテモ大ニ考ヘナケレバナラヌ仕事デアルト思ヒマス、此滿洲ニ於ケル製鐵ノ事業ト、今回設立サレマシタ日本製鐵株式會社ノ事業トハ勿論互ニ提携シマシテ、互ニ無用ナ競争ヲシテ、利益ヲ侵害シ合フヤウナ事ハスベカラザルコトハ言フ迄モアリマセヌ、而シテ此日本製鐵株式會社ハ、政府ガ大部分ノ株ヲ有チ、且ツ種々ノ監督權ヲ有テ居リマスカラ、政府ニ於テ之ヲ統制出來ルコトハ言フ迄モナイ話デアリマス、一方昭和製鐵株式會社ト申シマシタカ、其方モ大部分滿鐵株ヲ有テ居ル、只今ハ慥カ全部有テ居リマセウト思ヒマス、サウ云フモノデアリマスカラ、是ハ滿鐵ヲ經テ間接ニ政府ガ矢張統制シテ行クモノデアリマス、此二ツノ事業ハ共ニ政府ガ之ヲ統制シテ行ク、之ヲ如何ナル關係ニ於テ具體的ニドウヤツテ參ルカト云フコトハ、相當ムツカシイ問題デアリマス、實ハ日滿間ノ經濟統制ノ全體ニ付キマシテ、只今政府デハ種々ノ調査ヲシテ、大體ノ方針ヲ具體的ニ各事業ニ付テ定メタイト云フノデ、評議ヲシテ居ルヤウデアリマス、

製鐵ノ如キハ勿論其最モ重要ナル一部デアリマスカラ、此點ニ付テモ多分十分ノ評議ヲシテ居ルコト、私ハ信ジテ居リマス、實ハ此點ニ付テ私ハマダ何等就任以來省内ノ當局カラ報告ヲ得テ居リマセヌ、隨テ私ノ唯私見ヲ述ベタヤウナコトニナリマスガ、御心配ノヤウナ無統制ニ其間ガナルコトハ是ハ萬ナイ、如何ナル政府ト雖モ此點ニ付テハ十分ニ考慮スルダラウト云フコトヲ固ク信ジテ居リマス、尙ホ差當ッテ如何ニ統制サレルカト云フ案ハ、遠カラズ恐ラクハ出來マシテ、或ル時機ニ於テハ發表サレルコト、思ヒマス、只今ハマダ一向其眞ノ決定ニハ何等至ッテ居ラヌ管デアリマス、評議ヲシテ居ル程度デゴザイマス、此内容ノコトハ承知モ致シマセヌシ、又何人モ御答ハ一寸出來兼ネルト思ッテ居リマス

ウガ、其他ノ會社ハ誰ガ負擔スルコトニナッテ居リマスカ

○松本國務大臣 今回ノ案ハ、合併的ニ全部ノ債權債務等ヲ包括承繼スル案デアアリマセヌノデ、御承知ノ如ク現物出資ニ依リマシテ、特定ノ工場等ノ財産ヲ出資シテ居リマス、債權債務ニ付テハ何等新會社ニハ及バナイ、隨テ舊會社ニ於テ是ハ負擔スルト云フコトニナリマス、其會社ノ中デハ或ハ今回解散スルモノモアリマセウガ、解散シナイモノモアリマス、若シ解散スルモノアリトスレバ、解散スルモノハ其清算會社ニ於キマシテ之ヲ處理シテ參ルト云フコトニナリマス

マシタル際ニ、是方特許トシテ特別ノ權利ヲ持チマスヤウナ際ニ於テハ、新シキ技術ヲ基礎トシテノ新會社等ヲ特許致サナイヤウナコトハ、是ハ社會全般カラ見マシテ洵ニ宜シカラザルコトニ考ヘルノデアリマスガ、左様ナ種々ノ點ニ付キマシテノ御意嚮ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○松本國務大臣 私ガ申スコトガ或ハ從來ノ當局ノ考ヘテ居ルコト、違フカモ知レマセヌ、違ヒマシタナラバ政府委員ノ方カラ訂正シテ貰ヒマス、私ノ唯考ヘテ居リマスルコトヲ述ベマス、幸ニ訂正ガナケレバ從來モサウ考ヘテ居ッタコト、御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、新會社ガ出來マスルコトハ、是ハ勿論阻止ハ慥カ出來ナカッタと思フノデス、法律的ニ何等免許トカ許可トカ云フモノハ要リマセヌカッタヤウニ記憶シテ居リマス、唯製鐵獎勵法ト言ヒマスカ、アノ法律ガ獎勵ノ利益ヲ受ケントスル者ガアリマスルト、其者ノ事業ニ付テハ種々ノ認可其他ノモノガ要ルト云フコトニナリマス、茲ニ新會社ヲ設立スルト假定シマシテ、矢張獎勵法ノ利益ニ浴サナケレバ先ヅ以テ出來マイト思フ、獎勵法ノ利益ニ浴サナイヤウナ極ク小さい、殆ド顧慮スルニ足ラヌヤウナモノハ出來ルカモ知レマセヌケレド

モ、先ヅは八問題デハナイダラウト思フ、只今ノ御質問ノ御趣旨モ亦相當ノ統制ヲシナケレバナラヌヤウナモノガ出來テ困リハセムカト云フ御趣旨ト思フノデアリマスガ、左様ナモノハドウシテモ此獎勵法ノ適用ヲ受クルモノニ外ナラナイダラウト考ヘマスカラ、是ハ獎勵法ノ範圍ニ於キマシテ認可ヲ與ヘルトカ云フヤウナ際ニ適當ナル統制ガ出來ヨウト考ヘテ居リマス、ソレカラサウ云フ新會社ガ安ク製品ヲ出スト云フコトニナツタラ困リハシナイカト云フ御話ニ付キマシテハ、先ヅ私ノ考デハ、此新ニ出來マスル日本製鐵株式會社ハ、先程モ既ニ御説明ヲ申上ゲテ居ッタヤウデアリマスガ、大體適當リノ生産設備ノ原價ハ、六十一二圓位ノ所マデ所謂壓縮ト云フコトデシテ居ルノデ、斯ノ如キ程度ノモノハ恐ラク新ニハ出來ナイト私ハ考ヘテ居リマス、唯御質問ニ仰セラレタ如ク、全ク新シイ發明デモ出來タ、例ヘバ電氣製鐵ガ非常ナ發達ヲシテ、經濟的ニ今迄ト全ク變ッタモノガ出來ルト云フヤウナコトニナリマシテ、サウ云フ全ク變ッタ「プロセス」デアルヤウナモノガ出來ル時ノミガ想像ニ上ルノデアリマス、併ナガラ假ニサウ云フ發明ガ出來ルトシマシテモ、斯ノ如キモノハ矢張日本製

鐵株式會社ヲ通シテ運用サレルコトニ事實ニ於テハナルニ違ヒナイ、特許權ヲ得マシタヤウナ者ガ假ニアリトシマシテモ、ソレハ矢張大キナ所ニ賴ンデ、大ニ利用サレルコトガ自己ノ爲ニモ亦利益ニナルノデアリマスカラ、サウ云フ新シイ「プロセス」ガ出來マシテモ、日本製鐵株式會社ノ競争者トシテ困ラセラレルヤウナ新會社ガ——獎勵ナンゾ受ケヌデモ宜シイト云フ勢デヤツテ來ルヤウナモノガ出來ヨウト云フコトハ、先ヅ只今想像ヲシテ考ヘル程ノ必要モナイ位稀ナ場合デアラウト思フ、隨ッテ今後ニ於キマシテ、日本製鐵株式會社ノ仕事ニ妨害ヲ與ヘ、是ガ折角出來マシテモ、製鐵事業ノ統制ヲ破ルモノガ新タニ出現スルト云フ憂ハ、先ヅ以テ私ハナイト確信シテ居リマス

○横川委員 大體先ヅナカラウト云フ御見解ノ程度デ諒承致シマス

○田尻委員 私ハ只今政府委員カラ御説明ニナリマシタ製鐵合同ノ經過、ソレト此處ニ御配付ニナリマシタ此資料ニ付キマシテ、不審ヲ質スト云フ程度デ、今日ハ簡單ニ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、此流動財産ニ付テハ製鐵所カラ出資スル流動財産ダケノ評價表ヲ載セテアリマスガ、民間業者ノ

方カラハ流動財産ハ出サナイコトニナツテ居ルノデアリマスガ、伺ヒマス

○松本國務大臣 是モ先程申シマシタヤウニ、若シ間違ッタラ正シテ貰ヒマスガ、私ノ承知シテ居ル所デハ、流動財産ノ出資ハ政府ノ製鐵所ダケニ限ッテ居ッタヤウニ思ヒマス、而シテ其額ハ隨カ法律ノ案ガ出マシタ時分ニハ、三千萬圓位ニ豫想シテ居ッタノデアリマスガ、物モ高クナルシ、量ガ餘程殖エテ居リマス爲ニ、四千五百萬圓ト云フコトニ今回ハナツテ居ルト記憶シテ居リマス、然ラバ他ノ會社ハ矢張事業ヲシテ居ルデハナイカ、然ラバマルデ鑛石トカ或ハ未成品トカ云フモノガ無イト云フコトデモナカラウト云フ御考モアリマセウガ、是等ハ別ニ會社成立後ニ於テ適宜ニ處理サレテ行クト云フノデ、現物出資ノ中ニハ加ヘテ居リマセヌ

○田尻委員 次ニ伺ヒマスコトモ態々大臣ニ御答辯ヲ煩ハサナクテモ宜シイノデゴザイマス、大臣ニハ何レ又日ヲ改メテ伺ヒマス、此御示シノ表ノ中ノ「今回ノ評價額」ト云フモノ、二枚目ノ表デスネ、此表ノ稼高式評價ト云フ中ニ販賣數ト云フノガアリマス、アノ販賣數ト云フノハ鋼材、銑鐵、鋼片全部合算シタモノデアリマスガ、何か

鋼材ニデモ換算シタモノデアリマスガ

○新倉商工書記官 此表ニゴザイマス販賣數ハ現實ニ各製鐵所、其他會社ガ販賣スルモノトシテ考ヘラレタモノデゴザイマス、例ヘバ製鐵所ニ致シマス、銑鐵ヲ作りマスト大部分ハ、鋼材ト致シマシテ自ラ消費致スモノハ此中ニ入ッテ居リマセヌ、銑鐵ハ銑鐵トシテ賣リマス物ノ數ト、鋼材ハ鋼材トシテ賣リ得ル物ノ數ヲ合計シタモノデゴザイマス

○田尻委員 ソレカラ適當リ設備費ヲ六十一圓程度ニシタイト云フコトヲ前議會カラ御答辯ニナツテ居リマスルガ、今回ノ出資財産ノ査定ノ場合ノ設備、日鐵會社ニ參加シタモノ、設備、生産能力ハドノ位ニナツテ居リマスガ

○新倉商工書記官 只今ノ御質問ハ今回成立致シマシタ日本製鐵ノ能力デゴザイマスネ、ソレハ銑鐵ハ約百八十萬、ソレカラ鋼材ハ約百四十六萬、デアリマス

○田尻委員 サウシマス、此生産設備ニ適當リ評價額六十一圓ト云フコトニナリマスレバ、日鐵會社ノ事業設備ノ評價資産ハ、此生産能力ニ六十一圓ヲ掛ケタモノト云フコトニナル譯デアリマスガ

○新倉商工書記官 此日本製鐵株式會社ノ

資本總額ノ中ニハ、流動資産其他ガゴザイマス、サウ云フモノハ差引キマシテ、其他ニ土地ガゴザイマス、此土地モ種當リカラ差引キマス、ソレカラ尙ホ其他ニ製鐵所デハ出資致シマシタ炭山、鑛山ト云フヤウナモノモゴザイマス、ソレカラ更ニモウ一ツ控除シテ戴キタイノハ、先程モ申上ゲマシタ未成工事ト云フモノニ付キマシテハ、一應基本的ナ製鐵設備ヲ稍、複成式ト稼高式ヲ、評價額ノ中カラ別ニ評價致シタモノデアリマスカラ、ソレデ前ニ申上ゲマシタ尙當リ六十一圓ト云フモノ、中カラ此未成工事ハ除イテゴザイマス、結局土地其他未成工事等ヲ除キマシタモノデ、計算ノ便宜上カラ申シマシテ、此査定評價額ノ二枚目ノ表ニ査定評價ト云フノ下カラ三行目ニゴザイマス、此査定表ノ中カラ土地ヲ引イタノヲ大體標準ニシテ戴ケレバ宜シウゴザイマス

○田尻委員 サウスルト査定評價額ノ二億五千九百三十一萬四千圓、ソレカラ必要土地ヲ除イタモノデスネ——サウスルト其價格ハ大體分ッテ居リマスカ

○新倉商工書記官 大體用地價格ハ四千五百萬圓強デアリマス

○田尻委員 サウスルト二億五千萬圓ノ中

カラソレヲ引イタモノト云フコトニナルノデスネ、——サウスルトモウ一ツ此表ニ付テ伺ヒマスガ、製鐵所外五社出資財産評價額ト云フモノニ、前議會通リノ算式ニ依ル合計ト書イテ出資財産評價額ガ全體トシテ三億六千五百三十八萬三千圓ト云フコトニナル譯デアリマスネ、——是方前議會通リニ收益率ヲ六分トシテ還元シ、稼高式ト複成式ヲ二ト一ノ割合ニシ、或ハ減價償却率ヲ五分トシ、壓縮率ヲ三分ノ二トシテ、全部前議會ニ於テ説明サレタ通りニ計算シテノ數字デアリマスカ

○新倉商工書記官 左様デゴザイマス

○田尻委員 此際私ノ不審トシテ御尋致シタイコトハ是ダケデゴザイマス、何レ又改メテ質問致シマス

○加藤委員長 私カラ一寸御提出ヲ願ヒタイト思ヒマスコトガアリマス、今回ノ合同ノ目的ハ事業ノ合理化統制ト云フコトニアッタノデスカラ、其眼目ト云フモノハ生産費ノ低下ト云フコトデナケレバナラス、ソレニ對シマシテ此間ノ議會デハ低下シ得ル見込ガアルト云フヤウナ御説明ヲ大臣ガサレタヤウニ思ッテ居リマス、其根據ト申シマスルカ、數字のナモノヲ何モ示サレテ居リマセヌガ、之ヲ次ノ時マデニ、モウ少シ數

字ニ依ッテ正確ニ一ツ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ今田尻君カラノ最初ノ御質問ノ數字ノコトニ關シマシテモ、之ヲ一ツ何か印刷サレテ御渡シヲ願ヒタイト思ヒマス、本日ハ此程度ニ於テ散會致シマス、次會ハ十七日ノ午前十時ヨリ開會致シマス
午前十一時五十分散會

昭和九年二月十五日印刷

昭和九年二月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社